

厚生労働科学研究委託費

革新的がん医療実用化研究事業

(委託業務題目)「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前
trastuzumab併用化学療法の意味に関する臨床試験」に関する研究

平成26年度 委託業務成果報告書

業務主任者 寺島 雅典

平成27(2015)年 3月

様式第 18

本報告書は、厚生労働省の厚生労働科学研究委託事業による委託業務として、静岡県立静岡がんセンター総長山口建が実施した平成26年度「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用化学療法の意義に関する臨床試験」の成果を取りまとめたものです。

目 次

I . 委託業務成果報告（総括）		
「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用 化学療法の意義に関する臨床試験」に関する研究	-----	1
寺島雅典		
II . 委託業務成果報告（プロトコール作成・先進医療申請）		
「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用 化学療法の意義に関する臨床試験」に関する研究	-----	4
寺島雅典、徳永正則、町田望、笹子三津留		
（資料）資料1 先進医療承認通知		
資料2 プロトコール	-----	（別添）
資料3 説明同意文書	-----	（別添）
資料4 CRF	-----	（別添）
資料5 英語版プロトコール	-----	（別添）
. 委託業務成果報告（臨床試験推進）		
「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用 化学療法の意義に関する臨床試験」に関する研究	-----	7
滝口伸浩、田邊和照、高木正和、藤谷和正 平尾素宏、井上健太郎、稲木紀幸、掛地吉弘 大野聡、今本治彦、岩崎善毅、桜本信一 衛藤剛、藤谷恒明、春田周宇介、長晴彦		
. 委託業務成果報告（付随研究）		
「高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用 化学療法の意義に関する臨床試験」に関する研究	-----	9
谷口浩也		
. 学会等発表実績	-----	11
. 研究成果の刊行物・別刷	-----	（別添）

厚生労働科学研究委託費（革新的がん医療実用化研究事業）

委託業務成果報告（総括）

高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する
臨床試験

研究代表者 寺島 雅典 静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、Tmab併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第II相試験を企画した。本研究では企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療Bに申請して実施する事とし、予定登録症例数は130例、予定登録期間は3年とし、登録終了3年後に主たる解析を実施する予定である。平成26年度中にプロトコールは完成し、先進医療Bの承認も得られた。今後、患者登録を推進していく予定である。また、Tmabの効果予測因子を検索する附随研究も併せて実施する予定である。

プロトコール作成・先進医療申請	副院長
a. プロジェクト推進	藤谷和正 大阪府立急性期・総合医療センター
b. プロトコール作成	消化器外科主任部長
寺島雅典 静岡県立静岡がんセンター 胃外科 部長	平尾素宏 国立病院機構大阪医療センター 上 部消化器外科 科長
徳永正則 静岡県立静岡がんセンター 胃外科 医長	井上健太郎 関西医科大学付属枚方病院 外科 准教授
町田 望 静岡県立静岡がんセンター 消化器 内科医長	稲木紀幸 石川県立中央病院 消化器外科 診 療部長
c. 先進医療への申請	掛地吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科学分 野 教授
笹子三津留 兵庫医科大学 上部消化管外科 教授	大野 聡 福山市民病院 外科 がん診療統括 部長
臨床試験推進	
a. 症例登録の推進	今本治彦 近畿大学医学部 外科 教授
b. 登録状況の確認	岩崎善毅 東京都立駒込病院 外科 部長
滝口伸浩 千葉県がんセンター 消化器外科 臨床検査部長	桜本信一 埼玉医科大学国際医療センター上部 消化管外科 教授
田邊和照 広島大学病院 歯薬保健学研究院 講師	衛藤 剛 大分大学医学部消化器外科・小児外科 講師
高木正和 静岡県立総合病院 消化器センター	藤谷恒明 宮城県立がんセンター消化器外科

医療局長

春田 周宇介 虎の門病院

長 晴彦 神奈川県立がんセンター 消化器外科
科医長

附随研究事業

谷口浩也 愛知県立がんセンター中央病院薬物
療法部 医長

A．研究目的

高度リンパ節転移を有する進行胃癌は予後不良であり、現在、治療成績の向上を目指して三剤併用療法による術前化学療法の効果が検討されている。

一方、human epidermal growth factor receptor type2 (HER2) は細胞増殖因子受容体であり、HER2 陽性乳癌においては抗HER2抗体trastuzumab (Tmab) の有効性が確認され、独立した疾患群として治療法が開発されてきた。

胃癌においてもHER2陽性の切除不能・再発例でTmabの上乗せ効果が証明され、今後HER2陽性胃癌も独立した疾患群として治療開発が進むものと考えられる。そこで、本研究では、高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、Tmab併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する。

B．研究方法

対象は、高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌とし、日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の多施設共同ランダム化第 II 相試験として実施する。対象患者を、術前化学療法群、術前化学療法 + Tmab 群にランダム化し、術前治療を実施する。腫瘍縮小効果を評価した後に、リンパ節郭清を伴う胃切除術を施行する。術後は S-1 補助化学療法を 1 年間行う。

Primary endpoint は全生存期間、secondary endpoints は奏効割合、根治切除割合、治療完遂割合、組織学的奏効割合、有害事象発生割合。予定患者登録数は両群で 130 例である。

本研究は企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療 B に申請して実施する。予定登録期間は 3 年とし、登録終了 3 年後に主たる解析を実施する。本研究の結果、Tmab の大きな上乗せ効果が認められ、医学薬学上公知とみなし得る状況であれば公知申請を行う。一方、Tmab の上乗せ効果が公知とみなし得る状況にない場合は第 III 相試験を計画・実施する。

また、Tmab の効果予測因子を検索する附随研究も併せて実施する。

(倫理面への配慮)

本試験に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言および臨床研究に関する倫理指針にしたがって本試験を実施し、説明と同意、個人情報の保護、第三者による監視について厳守する。

C．研究結果

本研究では プロトコール作成・先進医療申請事業、臨床試験推進事業、付随研究事業に分けて研究を推進してきた。詳細に関しては各事業の報告書に譲り、ここではその要約のみ記載する。

プロトコール推進。先進医療申請事業においては、プロトコールは予定通りに完成し、平成 26 年 8 月に先進医療 B に申請し、平成 26 年 12 月に先進医療の承認が得られた。論文投稿時に要求されるプロトコールの英文翻訳に関しても完成させた。

臨床試験推進事業では、主たる施設の先進医療承認を受け、協力施設に対して IRB 申請、先進医療申請の援助を実施している。また、インターネットを利用した電子登録システムを整備した。

附随研究実施事業に関しては、効果予測、治療抵抗性予測因子の探索方法について検討し、患者血清並びに、腫瘍組織を用いた網羅的遺伝子解析を実施する方針を決定した。

D . 考察

本試験は、これまで予後不良とされてきた高度リンパ節転移症例に対する周術期の分子標的治療薬の効果を我が国で初めて検討する画期的な臨床試験である。HER2陽性胃癌を対象とし、Tmabを併用した同様な臨床第II相試験がドイツやスペインで実施された。単一アームの試験であったものの、病理学的完全奏効(pCR)割合が10~20%と高く、生存期間の延長が期待される。本試験はランダム化試験であるため、Tmabの上乗せ効果を直接的に評価できる点で意義が大きいものと考えられる。また、附随研究として網羅的な遺伝子発現解析を実施する事により、Tmabに対する効果予測因子、治療抵抗性因子を探索する事が可能となり、今後の実地臨床に大きなインパクトを与えるものと思われる。

研究そのものの進捗状況は概ね計画通りであり、次年度以降患者登録を推進していく予定である。

E . 結論

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験を企画し、先進医療Bの承認が得られた。今後、患者登録を推進するとともに、バイオマーカー探索を目的とした不随研究も行う予定である。

F . 健康危険情報

報告すべき事項なし。

G . 研究発表

別紙参照

H . 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究委託費（革新的がん医療実用化研究事業）
委託業務成果報告（プロトコール作成・先進医療申請）

高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する
臨床試験

研究代表者 寺島 雅典 静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、Tmab併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第II相試験を企画した。本研究では企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療Bに申請して実施する事とし、予定登録症例数は130例、予定登録期間は3年とし、登録終了3年後に主たる解析を実施する予定である。平成26年度中にプロトコールは完成し、先進医療Bの承認も得られた。今後、患者登録を推進していく予定である。

A. 研究目的

高度リンパ節転移を有する進行胃癌は根治切除が可能であっても極めて予後不良であるが、これまで術前cisplatin+S-1（CS）療法の有効性が示唆されており（JCOG0405：Tsuburaya A, Br J Surg 2014）、さらに現在、術前docetaxel+cisplatin+S-1の3剤併用（DCS）療法の有効性が検討されている（第II相試験JCOG1002：平成25年登録終了追跡中）。しかし、あまりに毒性の強い化学療法を術前に行う事は術後合併症の増加が懸念されるため、毒性を増強することなく抗腫瘍効果が得られる分子標的薬を術前化学療法に組み込む治療戦略に期待が持たれている。

HER2は細胞増殖因子受容体であり、乳がん領域ではHER2陽性乳癌は独立した一つの疾患群として治療開発がなされており、周術期化学療法においてもTmabの併用が推奨されている。

胃癌においても切除不能・再発例でHER2陽性例に

対するTmabの上乗せ延命効果が証明され（ToGA試験：Bang YJ. Lancet. 2010）、切除不能・再発胃癌に対する適応拡大が承認されたが、これまで術前Tmab併用療法に関する報告はなされていない。胃癌に対する手術成績は我が国と他国との間に大きな差があるため、手術が含まれる治療は我が国独自で開発しなければならない。

従って、本研究では、高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対するtrastuzumab（Tmab）併用術前化学療法の安全性と有効性を評価する事を目的とする。ただし、HER2陽性胃癌は全胃癌の12-15%程度と頻度は高くなく、本研究はまずランダム化第II相試験として行い、その結果によって、Tmabの上乗せ効果が有望であるが確定的でない場合には続いて第III相試験を行い、上乗せ効果が極めて高ければそのまま公知申請につなげる。

B. 研究方法

本研究は、高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、術前化学療法としてのCS + Tmab併用療法の安全性と有効性を評価することを目的として実施するランダム化第II相試験である。

対象は、高度リンパ節転移（A：cT2以深（浸潤が粘膜下組織を超える）かつ短径15mm以上の所属リンパ節転移、もしくは、B：bulkyリンパ節転移またはNo.16a2/b1転移）を有する根治切除可能なHER2陽性胃癌である。

適格例を、術前化学療法（CS）群、術前化学療法 + Tmab（CS+Tmab）群にランダム割付する。術前治療終了後、Aに対してはD2郭清を、Bに対してはD2 + 大動脈周囲リンパ節郭清を伴う胃切除術を施行する。術後補助化学療法としてS-1を1年以内服する。

Primary endpointは全生存期間、secondary endpointsは術前化学療法の奏効割合（RECIST v1.1）、根治切除割合、手術までの治療完遂割合、術後補助化学療法までの治療完遂割合、組織学的奏効割合、有害事象発生割合とする。

必要症例数は、CS群の3年生存割合を70%と仮定、CS+Tmab群で10%の上乗せ効果を期待、 $\alpha=0.20$ （片側）、検出力75%とするとランダム化スクリーニングデザインとして1群あたり63例となる。若干の不適格例や追跡不能例をみこみ、片群65例、両群130例とした。登録期間は3年、追跡期間は登録終了後5年とする。主たる解析は登録終了3年後に行う。

本研究は企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療Bに申請して実施する。予定登録期間は3年とし、登録終了3年後に主たる解析を実施する。本研究の結果、Tmabの大きな上乗せ効果が認められ、医学薬学上公知とみなし得る状況であれば公

知申請を行う。一方、Tmabの上乗せ効果が公知とみなし得る状況にない場合は第III相試験を計画・実施する。

また、Tmabの効果予測因子を検索する附随研究も併せて実施する。

本研究事業では、プロトコルを完成させ、先進医療への申請、プロコールの英訳版の作成、UMINへの登録などを行う予定とした。

C. 研究結果

プロトコル作成、先進医療申請事業では、研究計画書を作成し、先進医療Bへの申請を行った。

本研究のプロトコルコンセプトは平成25年6月29日にJCOG運営委員会の承認を得、その後プロトコルの作成に着手した。プロトコルは平成26年4月7日に完成し、JCOG運営委員会の承認も得られた。その後、先進医療Bに申請すべく事前相談に伺ったところ、公知申請に関してPMDAの相談を勧められ、平成26年4月22日にPMDAを訪問。その結果を踏まえて、平成26年7月17日に先進医療Bに申請。平成26年8月21日開催の技術審査部会にて「適」の判定を受け、先進医療会議で審査を受けた。その際、プロトコルの一部修正を要求されたため、プロトコルの一部を改訂。平成26年11月17日に先進医療の承認が得られた（資料1）。

先進医療の承認が得られた後に最終版のプロトコル（資料2）、説明同意文書（資料3）、CRF（資料4）を作成した。また、このプロトコルを元に、論文投稿時に要求される英語版のプロトコルについても翻訳を終了し完成させた（資料5）。

現在、UMINへの登録作業を進めている。

D. 考察

本試験は、これまで予後不良とされてきた高度リンパ節転移症例に対する周術期の分子標的治

<p>療薬の効果を我が国で初めて検討する画期的な臨床試験である。これまで、HER2陽性胃癌を対象とし、Tmabを併用した臨床第II相試験がドイツやスペインで実施されたが、単一アームの試験のため、その有用性の評価は困難である。本試験はランダム化試験であるため、Tmabの上乗せ効果を直接的に評価できる点で意義が大きいものと考えられる。しかしながら、本試験の結果をもって公知申請が可能か否かについてはグループ内でも議論し、PMDAにも相談に伺ったが、結局のところ解らないという回答であった。最終的な結果をみて判断せざるを得ないため、結果によっては更に大規模な第III相試験を予定する可能性も否定できない。</p>	<p>なし</p> <p>2. 実用新案登録</p> <p>なし</p> <p>3. その他</p> <p>なし</p>
--	--

プロトコール作成、先進医療申請に関しては予定通り進捗したので、今後は患者登録を推進し、なるべく早期に結果を得て今後の方針を決定したい。

E. 結論

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験のプロトコールを完成させ、先進医療Bの承認が得られた。今後、患者登録を推進する予定である。

F. 健康危険情報

報告すべき事項なし。

G. 研究発表

別紙参照

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

厚生労働科学研究委託費委託費（革新的がん医療実用化研究事業）
委託業務成果報告（臨床試験推進）

高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する
臨床試験

研究代表者 寺島 雅典 静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、Tmab併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第II相試験を企画した。本研究では企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療Bに申請して実施する事とし、予定登録症例数は130例、予定登録期間は3年とし、登録終了3年後に主たる解析を実施する予定である。平成26年度中にプロトコールは完成し、先進医療Bの承認も得られた。今後、協力施設のIRB承認、先進医療への申請を支援し、患者登録を推進していく予定である。

A. 研究目的

高度リンパ節転移を有する進行胃癌は予後不良であり、治療成績の向上を目指して様々な検討がなされている。

Human epidermal growth factor receptor type2（HER2）は細胞増殖因子受容体であり、HER2 陽性乳癌においては抗 HER2 抗体 trastuzumab（Tmab）の有効性が確認され、独立した疾患群として治療法が開発されてきた。

胃癌においても HER2 陽性の切除不能・再発例で Tmab の上乘せ効果が証明されている。そこで、本研究では、高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌を対象として、Tmab 併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する。

B. 研究方法

対象は、高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌とし、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第 II 相試験として実施す

る。対象患者を、術前化学療法群、術前化学療法 + Tmab 群にランダム化し、術前治療を実施する。腫瘍縮小効果を評価した後に、リンパ節郭清を伴う胃切除術を施行する。術後は S-1 補助化学療法を 1 年間行う。

Primary endpoint は全生存期間、secondary endpoints は奏効割合、根治切除割合、治療完遂割合、組織学的奏効割合、有害事象発生割合。予定患者登録数は両群で 130 例である。

本研究は企業から薬剤の無償提供を受けて、先進医療 B に申請して実施する。予定登録期間は 3 年とし、登録終了 3 年後に主たる解析を実施する。

本研究事業では、協力施設に対して先進医療 B への申請を援助し、なるべく早期に患者登録が可能となるように推進する。また、インターネット上で患者登録、CRF 記入が可能となる electronic data capture（EDC）システムも構築する。

C. 研究結果

本研究のプロトコールは平成 26 年 4 月 7 日に完成し、平成 26 年 7 月 17 日に先進医療 B に申請。平成 26 年 11 月 17 日に先進医療の承認が得られた。

現在、静岡がんセンターと国立がんセンターの 2 施設で先進医療の承認が得られている。JCOG 胃癌グループ参加 54 施設に対して、プロトコール、患者説明・同意文書、CRFなどを配布し、施設の IRB 承認を促している。また先進医療への申請に関しては、JCOG データセンターが支援し、各施設の事務担当者と連携しつつ今後順次申請する予定である。

EDC システム (JCOG Web Entry System) に関しても既に本試験用のシステムが完成しており、運用可能な状態となっている。

今後、倫理委員会承認、先進医療承認が得られた施設から患者登録を開始する予定である。

D. 考察

本試験は、これまで予後不良とされてきた高度リンパ節転移症例に対する周術期の分子標的治療薬の効果を我が国で初めて検討する画期的な臨床試験である。しかしながら、JCOG 胃癌グループとしては先進医療制度を利用した初めての臨床試験となるため、各施設の登録開始までにかかりの時間を要する事が予想される。また、もともと HER2 陽性胃癌の頻度は 10~15% しかないため、適格症例を見落とさずに円滑に登録するよう各施設に働きかける必要がある。

E. 結論

先進医療制度下で行う高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併
別紙 3

用化学療法の意義に関する臨床試験に関して、参加施設の先進医療申請が円滑に行われるよう支援を行った。今後は円滑な患者登録が可能となるよう援助していく予定である。

F. 健康危険情報

報告すべき事項なし。

G. 研究発表

別紙参照

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究委託費委託費（革新的がん医療実用化研究事業）
委託業務成果報告（附随研究）

高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する
臨床試験

研究代表者 寺島 雅典 静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長

高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌を対象として、Tmab併用による術前化学療法の安全性、有効性を検討する、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第II相試験を企画した。本研究では附随研究として、Tmabの効果予測因子、抵抗性予測因子を検索する網羅的遺伝子解析をBio Bank Japanに委託して行う予定である。

A. 研究目的

Human epidermal growth factor receptor type2（HER2）は細胞増殖因子受容体であり、HER2 陽性乳癌においては抗 HER2 抗体 trastuzumab（Tmab）の有効性が確認され、独立した疾患群として治療法が開発されてきた。

胃癌においても HER2 陽性の切除不能・再発例で Tmab の上乘せ効果が証明されている。しかしながら、Tmab の効果予測や治療抵抗性予測に関するバイオマーカーはこれまで確立されていない。そこで、本研究では、「高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験」に参加した患者から検体を採取し、Tmab の治療効果予測因子並びに治療抵抗性因子に関して探索する事を目的とする。

B. 研究方法

「高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験」は、高度リンパ節転移を有する

HER2 陽性胃癌とし、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）の多施設共同ランダム化第 II 相試験として実施される。対象患者を、術前化学療法群、術前化学療法 + Tmab 群にランダム化し、術前治療を実施する。腫瘍縮小効果を評価した後に、リンパ節郭清を伴う胃切除術を施行する。術後は S-1 補助化学療法を 1 年間行う。

Primary endpoint は全生存期間、secondary endpoints は奏効割合、根治切除割合、治療完遂割合、組織学的奏効割合、有害事象発生割合。予定患者登録数は両群で 130 例である。

本研究事業では、Tmab の治療効果予測因子、治療抵抗性因子を探索するための至適な研究方法に関して検討を行った。

C. 研究結果

本臨床試験では、術前に Tmab を投与する事から、術前組織（血液）検体、手術組織検体を用いた解析により Tmab の効果予測因子・治療抵抗性因子を明らかにできると考えた。

更に研究経費や効率などの点から、JCOG バイオバンクのシステムを利用し、Bio Bank Japan にエクソーム解析を委託する事が妥当と判断した。

現在、附随研究に関する研究計画を作成中である。

D. 考察

Tmab に関する効果予測因子に関してはこれまで明らかにされていない。本研究では術前治療である事から検体へのアクセスは比較的容易と考えられ、更に対照群が存在する事から Tmab に関連する遺伝子解析を直接的に解析可能と思われる。今後の HER2 陽性胃癌に関する治療に大きな貢献をもたらす事が予想される。

E. 結論

高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意味に関する臨床試験の附随研究としてバイオマーカー解析を企画した。

F. 健康危険情報

報告すべき事項なし。

G. 研究発表

別紙参照

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

様式第 19

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用
化学療法の

意義に関する臨床試験」

機関名 静岡県立静岡がんセンター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所 （学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Cardioesophageal cancer(口頭発表)	M.Sasako	19th National Surgical Congress, Antalya	2014年4月	国外
Where do we stand in gastric cancer surgery?(口頭発表)	M.Sasako	19th National Surgical Congress, Antalya	2014年4月	国外
胃癌における pStage で層別化した cStage と生存転帰との相関 - cStage は術前化学療法の症例選択の指標となりうるか? -(口頭発表)	坂東悦郎、幕内梨恵、三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、寺島雅典	第 100 回日本消化器病学会総、東京	2014年4月	国内
80 歳以上高齢者における胃癌手術症例に対する術後補助化学療法の現状 (ポスター発表)	棚橋利行、山口和也、久野真央、市川賢吾、八幡和憲、今井寿、佐々木義之、田中善宏、奥村直樹、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘、笹子三津留	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014年4月	国内

StageIV 胃癌に対する conversion therapy の意義（口頭発表）	吉田和弘、山口和也、奥村直樹、棚橋利行、田邊和照、鈴木崇久、大段秀樹	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
胃癌肝転移に対する conversion surgery の経験（ポスター発表）	徳本憲昭、田邊和照、藤國宣明、三隅俊博、大段秀樹	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
術前補助化学療法後の D2 胃切除術の危険因子（ポスター発表）	吉川貴己、青山徹、林勉、田邊和照、西川和宏、伊藤友一、円谷彰、森田智視、宮下由美、坂本純一	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
腹腔鏡下胃切除術で知りえた幽門下動静脈（IPA, IPV）の解剖とリンパ節分布（口頭発表）	春田周宇介、篠原尚、百瀬洸太、小林直、大倉遊、福井雄大、李世翼、上野正紀、宇田川晴司	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
当科での噴門側胃切除後の食道残胃吻合法について（口頭発表）	安田篤、今本治彦、曾我部俊介、錦耕平、岩間密、牧野知紀、白石治、新海政幸、今野元博、古河洋、奥野清隆、安田卓司	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除の適応拡大について（ポスター発表）	浅海信也、井谷史嗣、中野敢友、久保慎一郎、大川広、黒瀬洋平、石井龍宏、門田一晃、日置勝義、吉本匡志、大野聡、金仁洙、高倉範尚	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内

術前化学療法により pCR となった進行胃癌症例の長期予後調査 (ポスター発表)	長晴彦、吉川貴己	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
胃乳頭腺癌の臨床病理学的特徴 胃切除症例からの検討 (ポスター発表)	升田貴仁、滝口伸浩、永田松夫、鍋谷圭宏、池田篤、貝沼修、早田浩明、趙明浩、外岡亨、武藤頼彦、柳橋浩男、山本宏	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
ロボット支援胃切除術の安全性を評価する臨床第 II 相試験 (口頭発表)	寺島雅典、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、杉沢徳彦、幕内梨恵、三木友一朗、後藤裕信、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
進行胃癌治癒切除症例における術前栄養状態と治療成績の検討 (口頭発表)	川村泰一、杉沢徳彦、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、寺島雅典	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
胃癌における術前と術後の予後因子の比較 (口頭発表)	坂東悦郎、三木友一朗、幕内梨恵、杉沢徳彦、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、寺島雅典	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内

<p>食道癌組織における CETOEMS を用いたメタボローム解析（口頭発表）</p>	<p>徳永正則、小澤壯治、紙健次郎、宮地勇人、蓮池健一、林勉、数野暁人、伊藤英輔、大橋由明、藤森玉輝、星綾、楠原正敏、寺島雅典</p>	<p>第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市</p>	<p>2014 年 4 月</p>	<p>国内</p>
<p>胃切除術における術後 SSI の発生に影響するリスク因子解析と SSI 予防対策（口頭発表）</p>	<p>平尾素宏、山本和義、西川和宏、宮本敦史、池田先生、高見康二、中森正二、関本貢嗣、今村博司、井上健太郎、木村豊、飯島正平、藤谷和正、辻仲利政、下川敏雄、古川洋、黒川幸典、小林省吾、伊藤壽記、森正樹、土岐祐一郎</p>	<p>第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市</p>	<p>2014 年 4 月</p>	<p>国内</p>
<p>幽門狭窄を伴う根治切除不能進行胃癌に対する内視鏡下胃十二指腸ステント留置術に関する他施設前向き観察研究（口頭発表）</p>	<p>西川和宏、瀧口修司、宮崎安弘、遠藤俊治、今村博司、高地耕、木村豊、竹野淳、田村茂行、川田純司、川端良平、藤田淳也、森正樹、土岐祐一郎</p>	<p>第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市</p>	<p>2014 年 4 月</p>	<p>国内</p>
<p>Linear Stapler 再建による完全鏡視下幽門側胃切除から胃全摘への安全確実な Step up（口頭発表）</p>	<p>金治新悟、鈴木知志、山本将士、山下公大、今西達也、角泰雄、中村哲、田中賢一、藤野泰宏、富永正寛、掛地吉弘</p>	<p>第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市</p>	<p>2014 年 4 月</p>	<p>国内</p>

Optimum surgical approach for esophago-gastric junction tumors based upon the metastatic status of mediastinal lymph node . (口頭発表)	Tomoki Makino, Hiroaki Kato, Kohei Nishiki, Mitsuru Iwama, Osamu Shiraishi, Atsushi Yasuda, Masayuki Shinkai, Motohiro Imano, Haruhiko Imamoto, Hiroshi furukawa, Takushi Yasuda	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
高齢者胃癌患者に対する腹腔鏡下胃切除術の短期成績 (口頭発表)	大日向玲紀、岩崎善毅、矢島和人、石山 哲	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
再発形式からみた腹腔鏡下胃切除術の適応拡大の可能性 (口頭発表)	矢島和人、岩崎善毅、庾賢、川崎浩一郎、大日向玲紀、石山哲、高橋慶一	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
大型の食道胃接合部腺癌症例に対する外科治療成績 (ポスター発表)	庾賢、岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、松本寛、山口達郎、中野大輔、出江洋介	第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都市	2014 年 4 月	国内
センチネルリンパ節ナビゲーションを併用した 非開放式腹腔鏡内視鏡合同手術 (closed-LECS) の経験 (口頭発表)	森山秀樹、稲木紀幸、松井亮太、俵広樹、斎藤直毅、奥出輝夫、山本大輔、北村祥貴、太田尚宏、黒川勝、伴登宏行、富永桂、土山寿志、山田哲司	第 10 回 LECS 研究会、神戸市	2014 年 4 月	国内
当科における上部消化管に対する内視鏡外科手術の要点と工夫 (口頭発表)	稲木紀幸	第 87 回日本内視鏡学会総会、福岡市	2014 年 5 月	国内

<p>Update status of adjuvant chemotherapy in gastric cancer (口頭発表)</p>	<p>M.Sasako</p>	<p>11th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society, Taipei</p>	<p>2014年5月</p>	<p>国外</p>
<p>Survivin expression in peripheral blood as a prognostic marker in patients with gastric cancer. (ポスター発表)</p>	<p>Masanori Terashima, Yushi Yamakawa, Keiichi Hatakeyama, Yuichiro Miki, Rie Makuuchi, Shinsaku Honda, Taichi Tatsubayashi, Masanori Tokunaga, Yutaka Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Keiichi Oshima, Toru Mochizuki</p>	<p>2014 ASCO Annual Meeting, Chicago</p>	<p>2014年5月</p>	<p>国外</p>
<p>Current status of Laparoscopic gastrectomy for gastric cancer in Japan. (口頭発表)</p>	<p>Etoh T, Kitano S</p>	<p>9th International Postgraduate Course of Laparoscopic Surgery in Conjunction with 5th CME Course of IASGO & 4th Asia-Pacific Surgery Forum, Seongnam</p>	<p>2014年5月</p>	<p>国外</p>

Minimally invasive surgery for GIST.(口頭発表)	Etoh T, Kitano S	International Digestive Endoscopy Network 2014, Seongnam	2014年5月	国外
CXCR-4 発現ヌードマウス可移植ヒト胃癌株に対する AMD3100 と CDDP の腫瘍縮小効果 (口頭発表)	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第 35 回癌免疫外科研究会、大阪市	2014年5月	国内
Technique of esophagojejunostomy using transoral placement of the Pretilted anvil head after laparoscopic total gastrectomy(ポスター発表)	S.Sakuramoto, Kikuchi S, Futawatari N, Moriya H, Katada N, Yamashita K, Watanabe M	14th World congress of endoscopic surgery, Paris	2014年6月	国外
The short-term outcomes of laparoscopy-assisted proximal gastrectomy with jejunal interposition for early gastric cancer in the upper third of the stomach (ポスター発表)	Kazuhito Yajima, Yoshiaki Iwasaki, Ryouki Oohinata, Ken Yuu, Satoshi Ishiyama, Tomohiro Iwanaga, Manabu Ohashi	14th World congress of endoscopic surgery, Paris	2014年6月	国外
Surgical outcomes of the delta-shaped anastomosis in laparoscopic billroth distal gastrectomy (ポスター発表)	Ken Yuu, Yoshiaki Iwasaki, Kazuhito Yajima, Ryouki Oohinata, Satoshi Ishiyama, Daisuke Nakano, Tatsuro Yamaguchi, Hiroshi Matsumoto, Keiichi Takahashi	14th World congress of endoscopic surgery, Paris	2014年6月	国外

Combined laparoscopic resection for synchronous early gastric cancer and (ポスター発表)	Chie Hagiwara, Yoshiaki Iwasaki, Kazuhito Yajima, Satoshi Ishiyama, Ryouki Oohinata	14th World congress of endoscopic surgery, Paris	2014年6月	国外
A case of totally laparoscopic gastrectomy for early gastric cancer accompanied with huge hiatal hernia (ポスター発表)	Toshiyuki Shima, Yoshiaki Iwasaki, Kazuhito Yajima, Satoshi Ishiyama, Ryouki Oohinata	14th World congress of endoscopic surgery, Paris	2014年6月	国外
胃全摘後 Roux-Y 脚吻合部完全狭窄による輸入脚症候群の2症例(口頭発表)	安田篤、今本治彦、曾我部俊介、錦耕平、岩間密、牧野知紀、白石治、新海政幸、今野元博、古河洋、奥野清隆、安田卓司	第36回日本癌局所療法研究会、八尾市	2014年6月	国内
進行胃癌術後再発に集学的治療とステント挿入を施行した一例(口頭発表)	夏目壮一郎、岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、庚賢、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔、前田義治	第36回日本癌局所療法研究会、八尾市	2014年6月	国内
化学療法にてCR後、局所再発に対し根治切除した胃癌の1例(口頭発表)	錦耕平、曾我部俊介、岩間密、牧野知紀、白石治、安田篤、新海政幸、今野元博、古河洋、今本治彦、安田卓司	第36回日本癌局所療法研究会、八尾市	2014年6月	国内
胃癌術後腹膜播種再発に対する手術治療をともなった CDDP 腹腔内化学療法(口頭発表)	滝口伸浩、鍋谷圭宏、池田篤、貝沼修、早田浩明、趙明浩、外岡亨、斉藤洋茂、柳橋浩男、有光秀仁、小林亮介、	第36回日本癌局所療法研究会、八尾市	2014年6月	国内

	知花朝史、所為然、永田松夫、山本宏			
リンパ節転移を伴った広範囲未分化粘膜内胃癌の1切除例（ポスター発表）	廣瀬祐紀、武藤頼彦、趙明浩、貝沼修、山本宏、柳橋浩男、外岡亨、早田浩明、池田篤、鍋谷圭宏、滝口伸浩、永田松夫	第39回日本外科系連合学会学術集会、東京	2014年6月	国内
胃癌における脈管侵襲の臨床的意義（口頭発表）	坂東悦郎、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、杉野隆、中島孝、寺島雅典	第39回日本外科系連合学会学術集会、東京	2014年6月	国内
胸部・腹部大動脈瘤を有する胃癌に対する手術症例の検討（口頭発表）	高瀬健一郎、佐藤弘、鷺尾真理愛、竹下宏樹、藤森喜毅、岡伸一、櫻本信一、小山勇	第39回日本外科系連合学会学術集会、東京	2014年6月	国内
当院における胃切除後合併症で再手術となった症例の検討（ポスター発表）	竹下宏樹、佐藤弘、高瀬健一郎、鷺尾真理愛、藤森喜毅、岡伸一、櫻本信一、山口茂樹、小山勇	第39回日本外科系連合学会学術集会、東京	2014年6月	国内
胃癌腹膜播種による腸閉塞に対する緩和的手術（口頭発表）	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、庾賢、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第39回日本外科系連合学会学術集会、東京	2014年6月	国内

<p>適応拡大を見据えた腹腔鏡内視鏡合 同手術（LECS）（口頭発表）</p>	<p>森山秀樹、稲木紀幸、 疋島和樹、崎村祐介、 俵広樹、佐藤礼子、奥 出輝夫、松井亮太、山 本大輔、北村祥貴、太 田尚宏、黒川勝、伴登 宏行、富永桂、土山寿 志、山田哲司</p>	<p>第 103 回消化器内 視鏡学会 北陸支部 例会、福井市</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>高齢者胃癌に対する腹腔鏡手術の成 績（口頭発表）</p>	<p>森山秀樹、稲木紀幸、 疋島一樹、崎村祐介、 俵広樹、佐藤礼子、奥 出輝夫、松井亮太、山 本大輔、北村祥貴、太 田尚宏、黒川勝、伴登 宏行、山田哲司</p>	<p>第 118 回日本消化 器病学会 北陸支部 例会、福井市</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>腹腔鏡下胃癌手術における，膈上縁 郭清に先行した横隔膜脚前面先行剥 離のコツと有用性（口頭発表）</p>	<p>森山秀樹、稲木紀幸、 疋島和樹、崎村祐介、 俵広樹、佐藤礼子、奥 出輝夫、松井亮太、山 本大輔、北村祥貴、太 田尚宏、黒川勝、伴登 宏行、山田哲司</p>	<p>第 46 回北陸内視鏡 外科研究会、富山市</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>予防的頸部放射線照射後 25 年目に 発生した胸部食道癌根治切除術後頸 部食道癌の 1 切除例（口頭発表）</p>	<p>岩間密、白石治、牧野 知紀、曾我部俊介、錦 耕平、安田篤、新海政 幸、今野元博、今本治 彦、古河洋、安田卓司</p>	<p>第 57 回関西胸部外 科学会、大阪市</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>Multicenter Phase II Study of TAS-102 Monotherapy in Patients with Pretreated Advanced Gastric Cancer / 前治療で増悪した進行胃 癌患者を対象とした TAS-102 の第 相臨床試験（口頭発表）</p>	<p>町田望、土井俊彦、板 東英明、室圭、仁科智 裕、山口研成、高橋俊 二、設楽紘平、佐藤暁 洋、大津敦</p>	<p>第 12 回日本臨床腫 瘍学会学術集会、福 岡市</p>	<p>2014 年 7 月</p>	<p>国内</p>

進行胃癌肝転移に対する手術症例の検討（口頭発表）	田邊和照、鈴木崇久、藤國宣明、三隅俊博、佐伯吉弘、大段秀樹	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
腹腔鏡下胃切除における膈周囲リンパ郭清のポイントとトラブル回避の工夫（口頭発表）	春田周宇介、篠原尚、百瀬洸太、大倉遊、小林直、菅原俊喬、李世翼、上野正紀、宇田川晴司	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
放射線化学療法後・高度化学療法後の開腹胃切除における D2 リンパ節郭清の実際（口頭発表）	新海政幸、古河洋、錦耕平、牧野知紀、岩間密、白石治、安田篤、今野元博、今本治彦、安田卓司	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
リンパ節郭清効果からみた食道胃接合部癌における至適リンパ節郭清範囲および治療戦略の検討（口頭発表）	牧野知紀、錦耕平、岩間密、白石治、安田篤、新海政幸、今野元博、今本治彦、古河洋、安田卓司	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
当院における残胃癌手術症例からみた治療戦略（口頭発表）	瀧井麻美子、吉田佳世、海辺展明、山下英孝、大嶋勉、仁和浩貴、竹村雅至、菊池正二郎、笹子三津留	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
80 歳以上高齢者における胃癌術後補助化学療法の現状（口頭発表）	棚橋利行、山口和也、田中善宏、奥村直樹、松橋延壽、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘、笹子三津留	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内

80歳以上高齢者胃がん症例における手術成績（口頭発表）	海辺展明、竹村雅至、瀧井麻美子、吉田佳世、山下英孝、大嶋勉、仁和浩貴、菊池正二郎、笹子三津留	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内
胃がんとがん関連線維芽細胞におけるEphrinA2受容体発現は胃がんの再発予測マーカーである(口頭発表)	菊池正二郎、仁和浩貴、海辺展明、山下英孝、瀧井麻美子、大嶋勉、竹村雅至、中森正二、廣田誠一、笹子三津留	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内
腹腔鏡下幽門側胃切除における新三角吻合B-1再建（口頭発表）	西川和宏、大森健、川田純司、藤谷和正、平尾素宏、山本和義、宮本敦史、池田正孝、中森正二、関本貢嗣	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内
胃癌術後感染性合併症の発生における術後CRP値の有用性の検討（ポスター発表）	宍戸裕二 藤谷和正、山本和義、西川和宏、平尾素宏、浅岡忠史、宮本敦史、池田正孝、中森正二、関本貢嗣	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内
腹腔鏡下胃全摘術におけるRoux en Y再建法の手技の工夫と留意点 -再建手技の変遷と成績--（口頭発表）	滝口伸浩、永田松夫、鍋谷圭宏、池田篤、貝沼修、早田浩明、趙明浩、外岡亨、武藤頼彦、山本宏	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内
当院における残胃の癌に対する手術および内視鏡治療（口頭発表）	池田篤 滝口伸浩、鍋谷圭宏、早田浩明、外岡亨、武藤頼彦、趙明浩、貝沼修、永田松夫、山本宏	第69回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014年7月	国内

胃癌におけるリンパ節郭清のポイントと術中トラブル対処法(口頭発表)	寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
残胃癌のリンパ流に対する初回病変の影響(口頭発表)	幕内梨恵、坂東悦郎、三木友一朗、杉沢徳彦、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
下肢静脈エコー検査による胃癌術前の下肢静脈血栓症(DVT)スクリーニング(口頭発表)	谷澤豊、坂東悦郎、徳永正則、川村泰一、杉沢徳彦、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
胃切除後における呼吸器合併症のリスク因子およびその対策(口頭発表)	三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
切迫症状を有する進行胃癌に対する R2 切除の現状(口頭発表)	徳永正則、幕内梨恵、三木友一朗、杉沢徳彦、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
胃癌手術後症例における周術期感染症の現状と課題(口頭発表)	川村泰一、杉沢徳彦、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
胃癌における extranodal metastasis の意義(ポスター発表)	坂東悦郎、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、杉野隆、中島孝、寺島雅典	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内

食道癌・胃癌の悪性狭窄に対する外科治療の意義（口頭発表）	鷺尾真理愛、佐藤弘、竹下宏樹、藤森喜毅、高瀬健一郎、春田泰宏、櫻本信一、山口茂樹、小山勇	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
腹腔鏡下胃癌手術における合併症危険因子と治療成績向上にむけた対策（口頭発表）	金治新悟、鈴木知志、原田仁、安田貴志、今西達也、中村哲、田中賢一、藤野泰宏、富永正浩、掛地吉弘	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
残胃癌に対する臨床病理学的検討（口頭発表）	岩間密、錦耕平、牧野知紀、白石治、安田篤、新海政幸、今野元博、今本治彦、古河洋、安田卓司	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
腹腔鏡下胃全摘術後の Roux en Y 再建法 合併症回避と定型化（口頭発表）	滝口伸浩、永田松夫、鍋谷圭宏、池田 篤、貝沼修、早田浩明、趙明浩、外岡亨、齋藤洋茂、柳橋浩男、有光秀仁、小林亮介、知花朝史、所為然、山本宏	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
パンディングレトラクターを用いた背側胃間膜の腸間膜化による膈上縁リンパ節郭清（口頭発表）	井上健太郎、福井淳一、尾崎岳、向出裕美、道浦拓、徳原克治、里井壯平、海堀昌樹、濱田円、權雅憲	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
胃癌術後の膈液瘻の現状と重症化させない対策（口頭発表）	矢島和人、岩崎善毅、庾賢、大日向玲紀、石山哲、高橋慶一、松本寛、山口達郎、中野大輔	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内

QOL 調査からみた上部早期胃癌に対する切除再建術式の検討(口頭発表)	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、庾賢、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
85 歳以上の超高齢者胃癌患者の短期・長期手術成績(口頭発表)	大日向玲紀、矢島和人、庾賢、石山哲、岩崎善毅、中野大輔、松本寛、山口達郎、高橋慶一	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
HIV 感染を伴う胃切除症例の検討(口頭発表)	石山哲、岩崎善毅、矢島和人、大日向玲紀、庾賢、高橋慶一、松本寛、山口達郎、中野大輔、味澤篤	第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山市	2014 年 7 月	国内
胃癌の進展度・生存転帰・再発形式と血小板数の相関(ポスター発表)	坂東悦郎、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 23 回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014 年 7 月	国内
SM1 胃癌のリンパ節転移頻度(ポスター発表)	谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、徳永正則、幕内梨恵、三木友一朗、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 23 回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014 年 7 月	国内
領域リンパ節に 10 個以上の転移を認めた pT1 胃癌奨励の検討(ポスター発表)	辰林太一、坂東悦郎、本田晋策、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 23 回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014 年 7 月	国内

Trastuzumab 併用化学療法が著効し、根治切除をおこなった多発肝転移を有する HER-2 陽性食道胃接合部癌の 1 例 (ポスター発表)	本田晋策、谷澤豊、辰林太一、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 23 回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014 年 7 月	国内
胃癌肝転移症例に対する治療戦略- 切除例における検討- (ポスター発表)	三木友一朗、谷澤豊、幕内梨恵、徳永正則、坂東悦郎、川村泰一、寺島雅典	第 23 回日本がん転移学会学術集会・総会、金沢市	2014 年 7 月	国内
肥満を伴う胃癌手術に対する術前減量方法の開発 (ポスター発表)	井上健太郎、木村穰、吉内佐和子、毛利恵子、川口早苗、中嶋佐知子、中村夏子、北村晃子、宮内拓史、那須加奈子、濱田円、権雅憲	第 32 回日本肥満症治療学会学術集会、大津市	2014 年 7 月	国内
食道癌術後における再建胃管癌 8 例の検討 (ポスター発表)	錦耕平、曾我部俊介、岩間密、牧野知紀、白石治、安田篤、新海政幸、今野元博、古河洋、今本治彦、安田卓司	第 68 回日本食道学会学術集会、東京	2014 年 7 月	国内
胃空腸バイパス手術症例における術前予後指標としての GPS (口頭発表)	西川和宏、川田純司、福田泰也、山本和義、平尾素宏、藤谷和正、吉田洋、岩瀬和裕、田中康博、高橋邦恵、遠藤俊治、原田百合奈、原口直紹、三宅正和、浅岡忠史、宮本敦史、宮崎道彦、池田正孝、中森正二、関本貢嗣	日本外科代謝栄養学会第 51 回学術集会、大阪市	2014 年 7 月	国内

高齢胃癌胃切除患者におけるサルコペニアの術後合併症発生に与える影響（口頭発表）	山本和義 福田泰也、 西川和宏、平尾素宏、 中山環、森住蘭、永妻 佑季子、谷川清、原口 直紹、三宅正和、浅岡 忠史、宮本敦史、池田 正孝、中森正二、関本 貢嗣	日本外科代謝栄養 学会第 51 回学術集 会、大阪市	2014 年 7 月	国内
HER2 陽性切除不能進行再発胃癌に おいて trastuzumab beyond progression は有用か？（口頭発表）	成田有季哉、門脇重憲、 谷口浩也、高張大亮、 宇良敬、安藤正志、丹 羽康正、原浩樹、山口 研成、室圭	第 12 回日本臨床腫 瘍学会学術集会、福 岡市	2014 年 7 月	国内
HER2 陽性進行胃癌におけるトラス ツズマブ併用化学療法の予後因子と しての HER2 免疫染色性の意義（口頭 発表）	門脇重憲、成田有季哉、 小森梓、野村基雄、谷 口浩也、高張大亮、宇 良敬、安藤正志、丹羽 康正、室圭	第 12 回日本臨床腫 瘍学会学術集会、福 岡市	2014 年 7 月	国内
胃癌に対する定型的 Reduced Port Surgery 低侵襲性と根治性のベス トバランス（口頭発表）	稲木紀幸	第 3 回 Reduced Port Surgery Forum、福 井市	2014 年 8 月	国内
食道胃接合部腺癌に対する術前化学 療法+手術の安全性と短期有効性： COMPASS 附随研究（口頭発表）	吉川貴己、田辺和照、 西川和弘、伊藤友一、 林勉、青山徹、長谷川 慎一、尾形高士、長晴 彦、坂本純一	第 52 回日本癌治療 学会学術集会、横浜 市	2014 年 8 月	国内
切除不能進行胃癌に対する胃空腸バ イパス手術症例の治療成績（ポスタ ー発表）	西川和宏、川田純司、 藤谷和正、平尾素宏、 山本和義、福田泰也、 福井亜希子、高木麻里、 原口直紹、三宅正和、 浅岡忠史、宮本敦史、	第 52 回日本癌治療 学会学術集会、横浜 市	2014 年 8 月	国内

	池田正孝、中森正二、 関本貢嗣			
胃癌化学療法起因の口腔粘膜炎に対する半夏瀉心湯(TJ-14)の有効性の検討(PII 試験)(口頭発表)	滝口伸浩、青山徹、西川和宏、藤田淳也、平林直樹、片岡政人、徳永行彦、飯島正平、小林道也、松井隆則、小川了、多久佳成、大庭真梨、坂本純一、円谷彰	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
進行胃癌に対する外科治療戦略(口頭発表)	寺島雅典	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
Clinical Stage により規定される胃癌ガイドラインリンパ節郭清範囲の妥当性(口頭発表)	坂東悦郎、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
術後補助化学療法の対象とならない pStage 、胃癌の予後(ポスター発表)	徳永正則、三木友一郎、幕内梨恵、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
非治癒切除(R2)胃癌における予後因子としての術式の影響(ポスター発表)	川村泰一、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、寺島雅典、安井博史	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
胃癌における機能温存手術(口頭発表)	鈴木知志、金新悟、中村哲、山本将土、金光聖哲、山下公大、今西達也、角泰雄、田中賢一、掛地吉弘	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内

CY1 進行胃癌に対する治療戦略とその成績（口頭発表）	新海政幸、今野元博、村瀬貴昭、曾我部俊介、錦耕平、牧野知紀、岩間密、白石治、安田篤、今本治彦、奥野清隆、古河洋、安田卓司	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
胃癌腹膜播種による腸閉塞に対する緩和的手術の意義（口頭発表）	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
高度進行胃癌に対する姑息的胃全摘術の検討（口頭発表）	川崎浩一郎、矢島和人、庾賢、大日向玲紀、石山哲、岩崎善毅	第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜市	2014 年 8 月	国内
進行 HER2 陽性胃癌の臨床病理学的特徴に関する検討（口頭発表）	門脇重憲、成田有季哉、小森梓、野村基雄、谷口浩也、高張大亮、宇良敬、安藤正志、丹羽康正、室圭	第 52 回日本癌治療学会学術集会 横浜市	2014 年 8 月	国内
当院における胃癌に対する腹腔鏡手術の変遷とその成績（口頭発表）	森山秀樹、稲木紀幸、松井亮太、俵広樹、斉藤直毅、奥出輝夫、山本大輔、北村祥貴、太田尚宏、黒川勝、伴登宏行、山田哲司	第 52 回北陸胃癌談話会、金沢市	2014 年 8 月	国内
Diagnosis with the image enhancement system for serosa invasion and peritoneal dissemination of gastric cancer（口頭発表）	Noriyuki Inaki	26th International conference of the society for medical inovation and technology 2014, Shanghai	2014 年 9 月	国外

<p>Prognostic significance of survivin expression in patients with gastric cancer(ポスター発表)</p>	<p>M. Terashima, K. Hatakeyama, Y. Yamakawa, Y. Miki, R. Makuuchi, S. Honda, T. Tatsubayashi, M. Tokunaga, Y. Tanizawa, E. Bando, T. Kawamura, K. Oshima, T. Mochizuki</p>	<p>ESMO 2014, Madrid</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Impacts of progression type on overall survival in advanced gastric cancer: Randomized P study of S-1 + oxaliplatin vs.S-1 + cisplatin (ポスター発表)</p>	<p>Nishikawa K, Yamada Y, Higuchi K, Gotoh M, Fuse N, Sugimoto N, Nishina T, Amagi K, Chin K, Niwa Y, Tsuji A, Imamura H, Tsuda M, Yasui H, Fujii H, Yamaguchi K, Yasui H, Hironaka S, Hamada C, Hyodo I</p>	<p>ESMO 2014, Madrid</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Multicenter phase trial of adjuvant S-1 plus Docetaxel for 6 months in patients with pathological stage gastric cancer (OGSG-1002)(ポスター発表)</p>	<p>Yamamoto K, Fujitani K, Tamura S, Fujita J, Matsuyama J, Kimura Y, Imamura H, Makari Y, Kurokawa Y, Satoh T, Tsujinaka T, Furukawa H</p>	<p>ESMO 2014, Madrid</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>

<p>Prognostic impact of HER2, EGFR and c-MET status on overall survival of advanced gastric cancer patients treated with standard chemotherapy without trastuzumab in a first-line treatment: a Japanese multicenter collaborative retrospective study (ポスター発表)</p>	<p>E. Shinozaki, N. Fuse, Y. Kuboki, T. Kuwata, T. Nishina, S. Kadowaki, N. Machida, S. Yuki, A. Ooki, S. Kajiura, T. Kimura, T. Yamanaka, T. Sasaki, K. Shitara, A. Nagatsuma, T. Yoshino, A. Ochiai, A. Ohtsu</p>	<p>ESMO 2014, Madrid</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>集学的治療を行った胃原発内分泌細胞癌の1例(口頭発表)</p>	<p>大川広、浅海信也、伊藤雅典、吉本匡志、門田一晃、黒瀬洋平、日置勝義、石井龍宏、中野敢友、貞森裕、大野聡、金仁洙、高倉範尚</p>	<p>第2回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会、東京</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>
<p>貧血のある胃癌手術症例における輸血回避と生存転帰の関連(ポスター発表)</p>	<p>川村泰一、徳正則、谷澤豊、坂東悦郎、幕内梨恵、三木友一朗、寺島雅典</p>	<p>第6回日本Acure Care Surgery学会学術集会、青森市</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>
<p>がん間質反応で胃がん治療戦略を考える(口頭発表)</p>	<p>菊池正二郎、福井広一、盛本浩二、仁和浩貴、前山義博、松本雅記、中森正二、廣田誠一、笹子三津留</p>	<p>第73回日本癌学会学術総会、横浜市</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>

<p>Project HOPE (High-tech Omics-based Patient Evaluation) for Cancer Clinics - Gastric Cancer - (ポスター発表)</p>	<p>Masanori Terashima, Taiichi Kawamura, Etsuro Bando, Yutaka Tanizawa, Masanori Tokunaga, Yuichiro Miki, Rie Makuuchi, Keiichi Ohsima, Kenichi Urakami, Masatoshi Kusuhara, Ken Yamaguchi</p>	<p>第73回日本癌学会 学術総会、横浜市</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>
<p>CE-MS Metabolomics delineated tumor-specific profiles in esophageal cancer (ポスター発表)</p>	<p>Masanori Tokunaga Soji Ozawa, Kenjiro Kami, Hayato Miyachi, Junya Oguma, YamatoNinomiya, Yoshiaki Ohashi, Tamaki Fujimori, Aya Hoshi, Masatoshi Kusuhara, Masanori Terashima</p>	<p>第73回日本癌学会 学術総会、横浜市</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>
<p>Development of treatment for LAGG-beyond the standardizing of D2 lymphadenectomy (口頭発表)</p>	<p>M.Sasako</p>	<p>34th Congress of the European Society of Surgical Oncology, Liverpool</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国外</p>
<p>Current status of Laparoscopic gastrectomy for gastric cancer in Japan. (口頭発表)</p>	<p>Etoh T</p>	<p>International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia 2014, Bali</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国外</p>

ハイビジョン標準時代の腹腔鏡下胃癌手術（口頭発表）	稲木紀幸、松井亮太、森山秀樹、俵広樹、斎藤直毅、奥出輝夫、山本大輔、北村祥貴、太田尚宏、黒川勝、伴登宏行、山田哲司	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
Reduced port surgery の意義（口頭発表）	稲木紀幸、松井亮太、森山秀樹、俵広樹、斎藤直毅、奥出輝夫、山本大輔、北村祥貴、太田尚宏、黒川勝、伴登宏行、山田哲司	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の周術期管理と治療成績（口頭発表）	田邊和照、藤國宣明、三隅俊博、佐伯吉弘、大段秀樹	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
当科で経験した胃切除後内ヘルニア症例の検討と対策（口頭発表）	藤國宣明、田邊和照、三隅俊博、大段秀樹	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
早期胃癌に対する内視鏡治療後の腹腔鏡下胃切除症例の検討(口頭発表)	三隅俊博、田邊和照、藤國宣明、大段秀樹	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下胃切除術から学んだ胃幽門下リンパ領域の動静脈の解剖とリンパ節分布（口頭発表）	春田周宇介、篠原尚、大倉遊、小林直、福井雄大、水野文、李世翼、菅原俊喬、百瀬洸太、上野正紀、宇田川晴司	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下胃切除術における鉗子助手の役割：阿吽の呼吸と“凜とした術野”の提供（口頭発表）	篠原尚、春田周宇介、大倉遊、小林直、福井雄大、水野文、李世翼、上野正紀、宇田川晴司	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内

左側臥位胸腔鏡下食道切除術における層構造を意識した上縦隔郭清手技（口頭発表）	竹村雅至、海辺展明、瀧井麻美子、吉田佳世、仁和浩貴、大嶋勉、菊池正二郎、笹子三津留	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
本邦から発信する胃癌に対する内視鏡外科のエビデンス(口頭発表)	衛藤剛、白石憲男、北野正剛	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
内視鏡外科における基礎および臨床研究の展開：腸管免疫の観点からみた気腹の影響について（口頭発表）	衛藤剛、草野徹、平塚孝宏、赤木智徳、柴田智隆、上田貴威、當寺ヶ盛学、白下英史、野口剛、白石憲男、猪股雅史、北野正剛	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
胃癌に対する審査腹腔鏡の施行成績（口頭発表）	西川和宏 平尾素宏、山本和義、藤谷和正、川田純司、原田百合奈、福田泰也、原口直紹、三宅正和、浅岡忠史、宮本敦史、宮崎道彦、池田正孝、中森正二、関本貢嗣	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
高齢者胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門側胃切除の安全性の検討（口頭発表）	鈴木知志、金治新悟、山本土、金光聖哲、山下公大、今西達也、角泰雄、中村哲、田中賢一、掛地吉弘	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下胃全摘術における手術の定型化 - Roux en Y 再建法 -（口頭発表）	滝口伸浩、永田松夫、鍋谷圭宏、池田篤、貝沼修、早田浩明、趙明浩、外岡亨、齋藤洋茂、柳橋浩男、有光秀仁、小林亮介、知花朝史、所為然、山本宏	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内

静岡がんセンターにおけるロボット支援胃切除術（口頭発表）	徳永正則、幕内梨恵、三木友一郎、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
早期十二指腸癌に対する内視鏡腹腔鏡合同手術（D-LECS）（口頭発表）	本田晋策、徳永正則、三木友一郎、幕内梨恵、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、川田登、田中雅樹、角嶋直美、滝沢耕平、小野裕之、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下胃切除における安全かつ確実な No.6 リンパ節郭清手技（口頭発表）	坂東悦郎、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下胃切除における置換左肝動脈温存リンパ節郭清手技（口頭発表）	辰林太一、坂悦郎、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
大型 3 型 4 型胃癌に対する審査腹腔鏡の有用性（口頭発表）	三木友一郎、徳永正則、幕内梨恵、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
ロボット支援下胃切除術による動作制限の克服（口頭発表）	寺島雅典	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内

<p>腹腔鏡・内視鏡合同手術で切除し得た胃 glomus 腫瘍の 1 例（口頭発表）</p>	<p>平田史子、高木航、大森隼人、本田晋策、辰林太一、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、田中雅樹、小野裕之、杉野隆、寺島雅典</p>	<p>第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>腹腔鏡下胃切除と開腹胃切除の無再発生存率の比較（口頭発表）</p>	<p>古谷晃伸、坂東悦郎、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>腹腔鏡下胃切除と開腹胃切除のリンパ節郭清個数の比較（口頭発表）</p>	<p>大森隼人、坂東悦郎、高木航、平田史子、辰林太一、本田晋策、三木友一郎、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>当院におけるデルタ吻合の導入初期の短期成績（口頭発表）</p>	<p>幕内梨恵、徳永正則、大森隼人、高木航、平田史子、辰林太一、本田晋策、三木友一郎、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>鏡視下幽門保存胃切除術における幽門下静脈温存の有効性に関する検討（口頭発表）</p>	<p>高木航、三木友一郎、大森隼人、平田史子、辰太一、本田晋策、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、川村</p>	<p>第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>

	泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典			
当科における幽門保存胃切除術の適応について（口頭発表）	安田篤、今本治彦、曾我部俊介、錦耕平、岩間密、白石治、新海政幸、今野元博、古河洋、安田卓司、奥野清隆	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
腹腔鏡下幽門側胃切除 Roux-en-Y 再建における十二指腸切離断端の埋没方法と意義（口頭発表）	井上健太郎、尾崎岳、福井淳一、道浦拓、岩本慈能、里井壯平、海堀昌樹、柳本泰明、濱田円、權雅憲	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
当院における 75 歳以上高齢者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除の検討（口頭発表）	淺海信也、井谷史嗣、大川広、久保慎一郎、中野敢友、黒瀬洋平、石井龍宏、伊藤雅典、吉本匡志、門田一晃、日置勝義、貞森裕、大野聡、金仁洙、高倉範尚	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
当院における上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術の検討（口頭発表）	大川広、淺海信也、久保慎一郎、中野敢友、黒瀬洋平、石井龍宏、伊藤雅典、吉本匡志、門田一晃、日置勝義、貞森裕、大野聡、金仁洙、高倉範尚	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内
85 歳以上超高齢者胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の検討（口頭発表）	河村英恭、矢島和人、岩崎善毅、石山哲、大日向玲紀、庚賢、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014 年 10 月	国内

80歳以上の高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の短期成績（口頭発表）	大日向玲紀、矢島和人、石山哲、岩崎善毅、中野大輔、松本寛、山口達郎、高橋慶一	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内
上部早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の治療成績（口頭発表）	矢島和人、岩崎善毅、大日向玲紀、庾賢、石山哲、山口達郎、松本寛、中野大輔、高橋慶一	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内
3Dハイビジョンシステムでみる新たな腹腔鏡下胃切除術（口頭発表）	庾賢、岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、松本寛、中野大輔、古賀文隆	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内
腹腔鏡下胃切除術を施行したBMI 30 kg/m ² 以上の高度肥満症例の検討（口頭発表）	櫻井桃子、矢島和人、岩崎善毅、石山哲、大日向玲紀、庾賢、松本寛、中野大輔	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内
巨大食道裂孔ヘルニアを併存した早期胃癌に対し腹腔鏡下胃切除術を施行した1例（口頭発表）	萩原千恵、矢島和人、岩崎善毅、庾賢、大日向玲紀、石山哲、中野大輔、松本寛、高橋慶一	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内
腹腔鏡下噴門側胃切除術の結腸後経路による空腸間置再建法（口頭発表）	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、庾賢、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市	2014年10月	国内

<p>噴門部の胃粘膜下腫瘍に対し腹腔鏡補助下噴門側胃切除を施行した3例の検討(口頭発表)</p>	<p>坂本啓、矢島和人、大日向玲紀、石山哲、岩崎善毅、中野大輔、松本寛、山口達郎、高橋慶一、市川寛、若井俊文</p>	<p>第27回日本内視鏡外科学会総会、盛岡市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>
<p>当科における腹腔鏡補助下噴門側胃切除術(LAPG)の短期成績(口頭発表)</p>	<p>石山哲、大日向玲紀、矢島和人、庾賢、高橋慶一、岩崎善毅</p>	<p>第44回胃外科術後障害研究会、富士宮市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>
<p>80歳以上の胃癌患者に対する腹腔鏡下胃切除術の短期成績(口頭発表)</p>	<p>大日向玲紀、矢島和人、庾賢、石山哲、岩崎善毅</p>	<p>第44回胃外科術後障害研究会、富士宮市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>
<p>幽門側胃切除術、RY法再建後の胆道系合併症から見た遠隔成績(口頭発表)</p>	<p>天木美里、矢島和人、岩崎善毅、庾賢、大日向玲紀、石山哲、中野大輔、松本寛、山口達郎、高橋慶一</p>	<p>第44回胃外科術後障害研究会、富士宮市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>
<p>腹腔鏡下幽門側胃切除術、RY法再建後のイレウス症例の検討(口頭発表)</p>	<p>矢島和人、岩崎善毅、天木美里、庾賢、大日向玲紀、石山哲、中野大輔、山口達郎、松本寛、高橋慶一</p>	<p>第44回胃外科術後障害研究会、富士宮市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>
<p>3Dハイビジョンシステムを用いた腹腔鏡下胃切除術の安全性、有効性に関する検討(口頭発表)</p>	<p>庾賢、岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔</p>	<p>第44回胃外科術後障害研究会、富士宮市</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>

糖尿病を持つ胃がん患者に対する胃切除の影響について(ポスター発表)	浅海信也、井谷史嗣、大川広、中野敢友、黒瀬洋平、石井龍宏、伊藤雅典、吉本匡志、門田一晃、日置勝義、貞森裕、大野聡、金仁洙、高倉範尚	第12回日本消化器外科学会大会、神戸市	2014年10月	国内
胃癌における腹腔内洗浄細胞診の術中迅速診断と最終診断の比較(口頭発表)	坂東悦郎、谷澤豊、寺島雅典	第12回日本消化器外科学会大会、神戸市	2014年10月	国内
低栄養を伴う胃癌手術症例に対する最適な術前栄養介入法の探索~当院の7年間の経験から~(口頭発表)	山本和義 西川和宏、平尾素宏	第12回日本消化器外科学会大会、神戸市	2014年10月	国内
胃癌における占拠部位別の術前深達度診断の正確性の検討(ポスター発表)	坂東悦郎、幕内梨恵、三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第56回日本消化器病学会大会、神戸市	2014年10月	国内
早期胃癌に対する非開放式腹腔鏡・内視鏡合同手術(closed-LECS)の経験(口頭発表)	森山秀樹、稲木紀幸、俵広樹、斎藤直毅、奥出輝夫、松井亮太、山本大輔、北村祥貴、太田尚宏、黒川勝、伴登宏行、富永桂、土山寿志、山田哲司	第47回北陸内視鏡外科研究会、金沢市	2014年11月	国内
肉眼的に根治切除可能な少数のPやCY症例を対象とした術前補助化学療法-COMPASS Phase II試験のサブセット解析(口頭発表)	吉川貴己、田邊和照、伊藤友一、西川和宏、松井隆則、林勉、青山徹、長晴彦、円谷彰、宮下由美、坂本純一	第76回日本臨床外科学会総会、郡山市	2014年11月	国内

腹腔鏡下胃切除における術や展開と 隣周囲リンパ郭清のポイント（口頭 発表）	春田周宇介、篠原尚、 大倉遊、水野文、小林 直、福井雄大、李世翼、 上野正紀、宇田川晴司	第 76 回日本臨床外 科学会総会、郡山市	2014 年 11 月	国内
進行胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門 側胃切除術のエビデンス：多施設共 同第 相試験の結果より(口頭発表)	衛藤剛、稲木紀幸、内 山和久、桜本信一、片 田夏也、國崎主税、佐 近雅宏、山下好人、土 岐祐一郎、白石憲男、 北野正剛	第 76 回日本臨床外 科学会総会、郡山市	2014 年 11 月	国内
根治切除不能胃癌に対する胃空腸吻 合術の検討（口頭発表）	西川和宏 平尾素宏、 山本和義、福田泰也、 川田純司、藤谷和正、 原田百合奈、前田栄、 原口直紹、三宅正和、 浅岡忠史、宮本敦史、 池田正孝、中森正二、 関本貢嗣	第 76 回日本臨床外 科学会総会、郡山市	2014 年 11 月	国内
本邦から発信する胃癌術前化学療法 のエビデンス-JCOG 試験から-(口頭 発表)	徳永正則、寺島雅典、 伊藤誠二、岩崎善毅、 円谷彰、中村健一、朴 成和、佐野武、笹子三 津留	第 76 回日本臨床外 科学会総会、郡山市	2014 年 11 月	国内
鏡視下手術から学ぶ開腹手術のリン パ節郭清（口頭発表）	寺島雅典、大森隼人、 高木航、平田史子、本 田晋策、辰林太一、三 木友一朗、幕内梨恵、 徳永正則、谷澤豊、坂 東悦郎、川村泰一、編 笠祐介、上坂克彦	第 76 回日本臨床外 科学会総会、郡山市	2014 年 11 月	国内

<p>胃切除術に対する ERAS プロトコールの導入とその成績（口頭発表）</p>	<p>幕内梨恵、杉沢徳彦、大森隼人、高木航、平田史子、辰林太一、本田晋策、三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 76 回日本臨床外科学会総会、郡山市</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>胃癌に対する ESD 後追加外科切除症例のリンパ節転移についての検討（口頭発表）</p>	<p>平田史子、坂東悦郎、高木航、大森隼人、本田晋策、辰林太一、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、小野裕之、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 76 回日本臨床外科学会総会、郡山市</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>胃癌単発リンパ節転移症例における原発部位と転移領域の検討（口頭発表）</p>	<p>高木航、坂東悦郎、大森隼人、平田史子、辰林太一、本田晋策、幕内梨恵、三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 76 回日本臨床外科学会総会、郡山市</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>十二指腸浸潤胃癌における浸潤距離の生存転帰への影響の検討（口頭発表）</p>	<p>大森隼人、坂東悦郎、高木航、平田史子、辰林太一、本田晋策、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典</p>	<p>第 76 回日本臨床外科学会総会、郡山市</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>

喫煙と胃癌術後患者の無再発生存期間との関連の検討（口頭発表）	古谷晃伸、坂東悦郎、三木友一朗、幕内梨恵、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第76回日本臨床外科学会総会、郡山市	2014年11月	国内
胃癌における術前の客観的栄養指標と生存転帰との相関（口頭発表）	坂東悦郎、幕内梨恵、三木友一朗、徳永正則、谷澤豊、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第76回日本臨床外科学会総会、郡山市	2014年11月	国内
同時性多発分化型早期胃癌の2例（ポスター発表）	眞部祥一、谷澤豊、大森隼人、高木航、平田史子、辰林太一、本田晋策、幕内梨恵、三木友一朗、徳永正則、坂東悦郎、川村泰一、絹笠祐介、上坂克彦、寺島雅典	第76回日本臨床外科学会総会、郡山市	2014年11月	国内
胃癌腹膜播種による腸閉塞に対する緩和的手術（口頭発表）	岩崎善毅、矢島和人、石山哲、大日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔	第76回日本臨床外科学会総会、郡山市	2014年11月	国内
Project HOPE (High-tech Omics-based Patient Evaluation for Cancer Clinics) for Gastric Cancer 胃癌に対するマルチオームクス解析を用いた癌患者評価（口頭発表）	寺島雅典、楠原正俊、大島啓一、浦上研一、幕内梨恵、三木友一朗、川村泰一、坂東悦郎、谷澤豊、徳永正則、山口建	第25回日本消化器癌発生学会総会、福岡市	2014年11月	国内

<p>Laparoscopic total gastrectomy with Roux en Y reconstruction; the benefits of intracorporeal anastomosis by hand-sewn purse-string suture (ポスター発表)</p>	<p>N. Takiguchi, M. Nagata, Y. Nabeya, A. Ikeda, O. Kainuma, H. Soda, A. Cho, T. Tonooka, H. Arimitsu, H. Yanagibashi, H. Yamamoto</p>	<p>24th World Congress of IASGO, Vienna</p>	<p>2014年12月</p>	<p>国外</p>
<p>Robotic gastrectomy with D2 lymphadenectomy for gastric cancer (口頭発表)</p>	<p>Terashima Masanori</p>	<p>24th World Congress of IASGO, Vienna</p>	<p>2014年12月</p>	<p>国外</p>
<p>Results of surgical resection after induction chemotherapy for gastric cancer with distant lymph node metastasis (ポスター発表)</p>	<p>Y. Tanizawa, E. Bando, M. Tokunaga, T. Kawamura, Y. Miki, R. Makuuchi, Y. Tsubosa, Y. Kinugasa, K. Uesaka, M. Terashima</p>	<p>24th World Congress of IASGO, Vienna</p>	<p>2014年12月</p>	<p>国外</p>
<p>Clinical value of immunocytological findings of peritoneal lavaged fluid in Gastric Cancer (ポスター発表)</p>	<p>Etsuro Bando, Norihiko Sugisawa, Masanori Tokunaga, Yutaka Tanizawa, Taiichi Kawamura, Yusuke Kinugasa, Katsuhiko Uesaka, Takashi Sugino, Takashi Nakajima, Masanori Terashima</p>	<p>24th World Congress of IASGO, Vienna</p>	<p>2014年12月</p>	<p>国外</p>

<p>Surgical outcomes laparoscopic gastrectomy for the obese patients with body mass index of 30kg/m² and over (ポスター発表)</p>	<p>Momoko Sakurai, Kazuhiro Yajima, Yoshiaki Iwasaki, Ken Yuu, Ryouki Oohinata, Satoshi Ishiyama, Daisuke Nakano, Tatsuro Yamaguchi, Hiroshi Matsumoto, Keiichi Takahashi</p>	<p>24th World Congress of IASGO, Vienna</p>	<p>2014年12月</p>	<p>国外</p>
<p>A randomized 2x2 phase II trial comparing two and four courses of S-1/cisplatin (SC) and paclitaxel/cisplatin (PC) as neoadjuvant chemotherapy for locally resectable advanced gastric cancer. Survival results of COMPASS (ポスター発表)</p>	<p>Takaki Yoshikawa, Kazuaki Tanabe, Kazuhiro Nishikawa, Kazumasa Fujitani, Yuichi Ito, Takanori Matsui, Tsutomu Hayashi, Toru Aoyama, Haruhiko Cho, Satoshi Morita, Yumi Miyashita, Akira Tsuburaya, Junichi Sakamoto</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>
<p>Risk factors for peritoneal recurrence in serosa-negative gastric cancer. (ポスター発表)</p>	<p>Hayato Omori, Yuichiro Miki, Wataru Takagi, Fumiko Hirata, Taichi Tatsubayashi, Shinsaku Honda, Rie Makuuchi, Masanori Tokunaga, Yutaka Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Masanori Terashima</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>

<p>A phase II study of systemic chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 (DCS) followed by gastrectomy with D2 plus para-aortic lymph node (PAN) dissection for gastric cancer with extensive lymph node metastasis (ELM): Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1002. (ポスター発表)</p>	<p>Seiji Ito, Takeshi Sano, Hiroshi Katayama, Junki Mizusawa, Daisuke Takahari, Mitsuru Sasako, Hitoshi Katai, Yoichi Tanaka, Takahiro Kinoshita, Masanori Terashima, Atsushi Nashimoto, Hiroki Yamaue, Norimasa Fukushima, Makoto Yamada, Yoshiyuki Fujiwara, Yutaka Kimura, Takeshi Azuma, Tsunehiro Yoshimura</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>
<p>Multiomics profiling for gastric cancer using high-tech omics-based patient evaluation (HOPE). (ポスター発表)</p>	<p>Masanori Terashima, Keiichi Oshima, Masatoshi Kusahara, Kennichi Urakami, Masanori Tokunaga, Yutaka Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Rie Makuuchi, Yuichiro Miki, Keiichi Hatakeyama, Ken Yamaguchi</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>

<p>Histological evaluation of tumor response in metastatic lymph node after preoperative chemotherapy for gastric cancer.(ポスター発表)</p>	<p>Shinsaku Honda, Yuichiro Miki, Yutaka Tanizawa, Wataru Takagi, Fumiko Hirata, Hayato Omori, Taichi Tatsubayashi, Rie Makuuchi, Masanori Tokunaga, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Takashi Nakajima, Masanori Terashima</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>
<p>The survival outcome after hepatic resection in patients with liver metastasis from gastric cancer. (ポスター発表)</p>	<p>Taichi Tatsubayashi, Yuichiro Miki, Wataru Takagi, Fumiko Hirata, Hayato Omori, Shinsaku Honda, Yutaka Rie Makuuchi, Masanori Tokunaga, Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Masanori Terashima</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>
<p>Effect of clinical stage on survival outcome in patients with pathological stage I gastric cancer. (ポスター発表)</p>	<p>Masanori Tokunaga, Rie Makuuchi, Yuichiro Miki, Yutaka Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Masanori Terashima</p>	<p>2015 ASCO-GI, San Francisco</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>

2 . 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等 名）	発表した時期	国内・外の別
Phase I study of sunitinib plus S-1 and cisplatin in Japanese patients with advanced or metastatic gastric cancer.	Boku N, Muro K, Machida N, Hashigaki S, Kimura N, Suzuki M, Lechuga M, Miyata Y.	Investigational New Drugs, 32(2):261-270	2014年4月	国外
Survival analysis of adjuvant chemotherapy with S-1 plus cisplatin for stage III gastric cancer.	Takahari D, Hamaguchi T, Yoshimura K, Katai H, Ito S, Fuse N, Konishi M, Yasui H, Terashima M, Goto M, Tanigawa N, Shirao K, Sano T, Sasako M.	Gastric Cancer, 17(2):383-386	2014年4月	国外
Comparison of perioperative and long-term outcomes of total and proximal gastrectomy for early gastric cancer: a multi-institutional retrospective study.	Masuzawa T, Takiguchi S, Hirao M, Imamura H, Kimura Y, Fujita J, Miyashiro I, Tamura S, Hisataku M, Kobayashi K, Fujiwara Y, Mori M, Doki Y	World Journal of Surgery, 38(5):1100-1106	2014年5月	国外
Long-term quality-of-life comparison of total gastrectomy and proximal gastrectomy by Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale (PGSAS-45): a nationwide multi-institutional study.	Takiguchi N, Takahashi M, Ikeda M, Inagawa S, Ueda S, Nobuoka T, Ota M, Iwasaki Y, Uchida N, Kodera Y, Nakada K.	Gastric Cancer, Epub ahead of print	2014年5月	国外

<p>Neoadjuvant chemotherapy with S-1 and cisplatin followed by D2 gastrectomy with para-aortic lymph node dissection for gastric cancer with extensive lymph node metastasis.</p>	<p>A. Tsuburaya, J. Mizusawa, Y. Tanaka, N. Fukushima, A. Nashimoto, and M. Sasako</p>	<p>The British Journal of Surgery, 101(6):653-660</p>	<p>2014年5月</p>	<p>国外</p>
<p>Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale (PGSAS)-45 and changes in body weight are useful tools for evaluation of reconstruction methods following distal gastrectomy.</p>	<p>Terashima M, Tanabe K, Yoshida M, Kawahira H, Inada T, Okabe H, Urushihara T, Kawashima Y, Fukushima N, Nakada K.</p>	<p>Annals of Surgical Oncology, 21(3):S370-378</p>	<p>2014年6月</p>	<p>国外</p>
<p>Accuracy of CT Staging of Locally Advanced Gastric Cancer after Neoadjuvant Chemotherapy: Cohort Evaluation within a Randomized Phase II Study.</p>	<p>Yoshikawa T, Tanabe K, Nishikawa K, Ito Y, Matsui T, Kimura Y, Hasegawa S, Aoyama T, Hayashi T, Morita, S, Miyashita Y, Tsuburaya A and Sakamoto J</p>	<p>Annals of Surgical Oncology, 21(3):S385-389</p>	<p>2014年6月</p>	<p>国外</p>
<p>Development and external validation of a nomogram for overall survival after curative resection in serosa-negative, locally advanced gastric cancer.</p>	<p>S. Hirabayashi, S. Kosugi, Y. Isobe, A. Nashimoto, I. Oda, K. Hayashi, I. Miyashiro, S. Tsujitani, Y. Kodera, Y. Seto, H. Furukawa, H. Ono, S. Tanabe, M. Kaminishi, S. Nunobe, T. Fukagawa, R. Matsuo, T. Nagai, J. Katai, T. Wakai, and</p>	<p>Annals of Oncology, 25(6):1179-1184</p>	<p>2014年6月</p>	<p>国外</p>

	K. Akazawa			
Determination of the optimal cutoff percentage of residual tumors to define the pathological response rate for gastric cancer treated with preoperative therapy(JCOG1004-A)	K.Nakamura, T.Kuwata, T.Shimoda, J.Mizusawa, H.Katayama, R.Kushima, H.Taniguchi, T.Sano, M. Sasako	Gastric Cancer, Epub ahead of print	2014年6月	国外
Overexpression of Ephrin A2 receptors in cancer stromal cells is a prognostic factor for the relapse of gastric cancer.	S.Kikuchi, N.Kaibe, K.Morimoto, H.Fukui, H.Niwa, Y.Maeyama, M.Takemura, M.Matsumoto, S.Nakamori, H.Miwa, S.Hirota, M.Sasako	Gastric Cancer, Epub ahead of print	2014年6月	国外
Early phase II study of robot-assisted distal gastrectomy with nodal dissection for clinical stage IA gastric cancer.	Tokunaga M, Sugisawa N, Kondo J, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M.	Gastric Cancer, 17(3):542-547	2014年7月	国外

<p>Sequential paclitaxel followed by tegafur and uracil (UFT) or S-1 versus UFT or S-1 monotherapy as adjuvant chemotherapy for T4a/b gastric cancer (SAMIT): a phase 3 factorial randomised controlled trial.</p>	<p>Tsuburaya A, Yoshida K, Kobayashi M, Yoshino S, Takahashi M, Takiguchi N, Tanabe K, Takahashi N, Imamura H, Tatsumoto N, Hara A, Nishikawa K, Fukushima R, Nozaki I, Kojima H, Miyashita Y, Oba K, Buyse M, Morita S, Sakamoto J</p>	<p>The Lancet Oncology, 15(8):886-893</p>	<p>2014年7月</p>	<p>国外</p>
<p>HER2 expression in locally advanced gastric cancer with extensive lymph node(bulky N2 or paraaortic)metastasis(JCOG1005-A trial).</p>	<p>T.Matsumoto, M.Sasako, J.Mizusihma, S.Hirota, A.Ochiai, R.Kushima, H.Katai, Y.Tanaka, N.Fukushima, A.Nashimoto, A.Tsuburaya</p>	<p>Gastric Cancer, Epub ahead of print Epub</p>	<p>2014年7月</p>	<p>国外</p>
<p>Validity of response assessment criteria in neoadjuvant chemotherapy for gastric cancer (JCOG0507-A)</p>	<p>Yukinori Kurosawa, Taro Shibata, Mitsuru Sasako, Takeshi Sano, Akira Tsuburaya, Yoshiaki Iwasaki, Haruhiko Fukuda</p>	<p>Gastric Cancer, 17(3):514-521</p>	<p>2014年7月</p>	<p>国外</p>

Evaluation of postgastrectomy symptoms after distal gastrectomy with Billroth-I reconstruction using the Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale-45 (PGSAS-45).	Misawa K, Terashima M, Uenosono Y, Ota S, Hata H, Noro H, Yamaguchi K, Yajima H, Nitta T, Nakada K.	Gastric Cancer, Epub ahead of print	2014年8月	国外
Long-term outcomes and prognostic factors of patients with advanced gastric cancer treated with S-1 plus cisplatin combination chemotherapy as a first-line treatment.	Kadowaki S, Komori A, Narita Y, Nitta S, Yamaguchi K, Kondo C, Taniguchi H, Takahari D, Ura T, Ando M, Muro K	International Journal of Clinical Oncology, 19(4):656-61	2014年8月	国外
Perioperative risk assessment for gastrectomy by surgical apgar score.	Miki Y, Tokunaga M, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M.	Annals of Surgical Oncology, 21(8):2601-2607	2014年8月	国外
Impact of the expression of thymidylate synthase and dihydropyrimidine dehydrogenase genes on survival in stage II/III gastric cancer.	M.Sasako, M.Terashima, W.Ichikawa, A.Ochiai, K.Kitada, I.Kurahashi, S.Sakuramoto, H.Katai, T.Sano, H.Imamura	Gastric Cancer, Epub ahead of print	2014年8月	国外
Optimal treatment change criteria for advanced gastric cancer with non-measurable peritoneal metastasis: symptom/tumor marker-based versus CT-based.	Hasegawa H, Fujitani K, Nakazuru S, Hirao M, Yamamoto K, Mita E, Tsujinaka T	Anticancer Research, 34(9):5169-5174.	2014年9月	国外

<p>A novel splice variant of XIAP-associated factor 1 (XAF1) is expressed in peripheral blood containing gastric cancer-derived circulating tumor cells.</p>	<p>Hatakeyama K, Yamakawa Y, Fukuda Y, Ohshima K, Wakabayashi-Nakao K, Sakura N, Tanizawa Y, Kinugasa Y, Yamaguchi K, Terashima M, Mochizuki T.</p>	<p>Gastric Cancer, Epub ahead of print</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Anatomical considerations of the infrapyloric artery and its associated lymph nodes during laparoscopic gastric cancer surgery.</p>	<p>Haruta S, Shinohara H, Ueno M, Udagawa H, Sakai Y, Uyama I.</p>	<p>Gastric Cancer, Epub ahead of print</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Low Creatinine Clearance is a Risk Factor for D2 Gastrectomy after Neoadjuvant Chemotherapy.</p>	<p>Hayashi T, Aoyama T, Tanabe K, Nishikawa K, Ito Y, Ogata T, Cho H, Morita S, Miyashita Y, Tsuburaya A, Sakamoto J, Yoshikawa T.</p>	<p>Annals of Surgical Oncology, 21(9):3015-3022</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Skeletal muscle loss after total gastrectomy, exacerbated by adjuvant chemotherapy.</p>	<p>Yamaoka Y, Fujitani K, Tsujinaka T, Yamamoto K, Hirao M, Sekimoto M.</p>	<p>Gastric Cancer, Epub ahead of print</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国外</p>
<p>Efficacy and long-term outcome of pre-emptive endoscopic resection and surgery for multiple synchronous gastric cancers.</p>	<p>Yoshida M, Kakushima N, Tokunaga M, Tanaka M, Takizawa K, Imai K, Hotta K, Matsubayashi H, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M, Ono H.</p>	<p>Surgical Endoscopy, Epub ahead of print</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国外</p>

<p>Characteristics and clinical relevance of postgastrectomy syndrome assessment scale (PGSAS)-45: newly developed integrated questionnaires for assessment of living status and quality of life in postgastrectomy patients.</p>	<p>Nakada K, Ikeda M, Takahashi M, Kinami S, Yoshida M, Uenosono Y, Kawashima Y, Oshio A, Suzukamo Y, Terashima M, Kodera Y.</p>	<p>Gastric Cancer, 18(1):147-158</p>	<p>2015年1月</p>	<p>国外</p>
<p>Long-term survival outcomes of advanced gastric cancer patients who achieved a pathological complete response with neoadjuvant chemotherapy: A systematic review of the literature</p>	<p>Haruhiko Cho, Junichi Nakamura, Yoshihide Asaumi, Hiroshi Yabusaki, Masahiro Sakon, Naoki Takasu, Tatsunori Kobayashi, Taro Aoki, Osamu Shiraishi, Hirofumi Kishimoto, Souya Nunobe, Shinji Yanagisawa, Takeshi Suda, Shigeyuki Ueshima, Satoru Matono, Hiroshi Maruyama, Mitsutoshi Tatsumi, Tomoko Seya, Yutaka Tanizawa, Takaki Yoshikawa</p>	<p>Annals of Surgical Oncology, 22(3):787-792</p>	<p>2015年3月</p>	<p>国外</p>
<p>The earlier the better?</p>	<p>Terashima M</p>	<p>Gastric Cancer, 17(2):197-199</p>	<p>2014年4月</p>	<p>国外</p>
<p>Surgical resection of hepatic metastasis from gastric cancer: a review and new recommendation in the Japanese gastric cancer treatment guidelines.</p>	<p>Kodera Y, Fujitani K, Fukushima N, Ito S, Muro K, Ohashi N, Yoshikawa T, Kobayashi D, Tanaka</p>	<p>Gastric Cancer, 17(2): 206-212.</p>	<p>2014年4月</p>	<p>国外</p>

	C, Fujiwara M.			
--	----------------	--	--	--

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式は excel 形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。